

# Fund Report

## 世界インパクト投資ファンド

愛称：*Better World*

追加型投信／内外／株式 ※課税上は株式投資信託として取り扱われます。

### －当ファンドの運用と投資哲学のご紹介－

日頃より『世界インパクト投資ファンド』をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

当レポートでは、2016年8月の設定来の運用状況のご報告と今後の運用方針、および当ファンドの投資哲学についてご説明いたします。

#### <サマリー>

当ファンドの設定来のパフォーマンスは概ね堅調な推移となっています。

当ファンドでは、「インパクト企業は革新的なソリューション、大規模な潜在的市場、メガトレンドとの合致などによる構造的な優位性がある」という投資哲学のもとで運用を行っており、新興国市場を対象にした新興国関連銘柄、ヘルスケア銘柄や再生エネルギー銘柄を多く組み入れています。

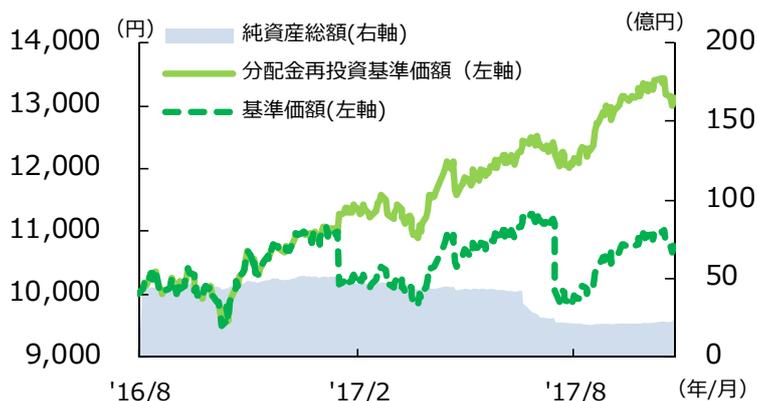
2016年8月のファンド設定以降、米トランプ政権誕生や英国のEU離脱交渉を始めとする政治的不透明感の高まり、世界的な金融緩和の縮小・後退へ向けた動き、北朝鮮のミサイル問題などの地政学的リスクの高まりなど、市場の不確実性が高まる局面がありましたが、当ファンドは上記の投資哲学のもと、構造的な優位性がある企業に投資を行っており、当ファンドの基準価額は堅調に推移しました。

当ファンドでは、引き続き世界の株式の中から社会的課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に投資を行うことで、信託財産の成長を目指します。

#### <基準価額・純資産総額等の推移

2017年11月17日現在>

#### ■ 基準価額等の推移（設定日（2016/8/26）～2017/11/17）



#### ■ 基準価額・純資産総額

|       |         |
|-------|---------|
| 基準価額  | 10,784円 |
| 純資産総額 | 23億円    |

#### ■ 基準価額騰落率

|     |       |
|-----|-------|
| 設定来 | 31.4% |
|-----|-------|

#### ■ 分配金

|     |        |
|-----|--------|
| 第1期 | 1,100円 |
| 第2期 | 1,000円 |
| 設定来 | 2,100円 |

※上記のコメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネージャー他）の見方あるいは考え方を記載したもので当該運用方針は変更される場合があります。将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。※基準価額は信託報酬控除後のものです。※分配金再投資基準価額および騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示。※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。※分配金は1万口あたりの金額（税引き前）※分配対象額が少額な場合には、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー提供データより作成。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

1/8

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわずみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiva SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

# Fund Report

## 世界インパクト投資ファンド

### <運用状況>

当ファンドの設定来のポートフォリオのパフォーマンスは概ね堅調な推移となっています。

当ファンドは、インパクト投資の特徴上、新興国市場を対象にした新興国関連銘柄、ヘルスケア銘柄や再生エネルギー銘柄を多く組み入れています。2016年は米トランプ政権誕生による保護主義政策や環境・気候変動政策の後退懸念が逆風となりましたが、2017年に入ると、米トランプ政権の政策への懸念が後退し、新興国資産の買い戻しから株価が反発したことで、同地域へのオーバーウェイトがプラスに寄与しました。

当ファンドはフィンテックやモバイル貨幣などの金融テーマに着目しており、情報技術セクターや金融セクターをオーバーウェイトにする一方、コモディティ価格の下落影響のあるエネルギーセクターを非保有としたセクター配分がプラスに寄与しました。

当ファンドは構造的な優位性がある企業に着目しており、幅広いセクターでの銘柄選択がプラスに寄与しています。また、自動走行運転技術カメラ製造のモービルアイ（イスラエル、情報技術）の株価が、インテル社による買収発表を受け大幅に上昇したことも、今期のプラス要因となりました。当銘柄については3月末に利益確定で全株売却をいたしました。

足元では、金融セクターにおいて安全な住宅確保がテーマのバーラト・フィナンシャル・インクルージョン（インド、金融）やインド・ブルズ・ハウジング（インド、金融）など、低所得者向けの住宅ローンなどのマイクロファイナンスを提供する企業がプラスに寄与しました。

情報技術、電気通信セクターでは、ブロックチェーン技術による決済システムを提供するフィンテック企業のスクエア（米国、情報技術）、バンキングや行政サービスのネット化を推進するバクランジー（インド、情報技術）、新興国でモバイルバンキングを提供する携帯電話事業会社ミリコム（スウェーデン、電気通信）など、新技術による金融サービスをテーマとする企業がプラスに寄与しました。

ヘルスケアセクターでは、遠隔医療サービスを提供するテラドック（米国、ヘルスケア）などの株価が好決算を受け好調に推移したことがプラスに寄与しました。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネージャー他）の見方あるいは考え方等を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。 ※本文中の企業は、当ファンドの投資銘柄を参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。 ※ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー提供データより作成

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

2 / 8

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## 世界インパクト投資ファンド

### <今後の見通しと運用方針>

世界的な金融緩和の縮小・後退へ向けた動きや北朝鮮を含めた地政学的リスクなど、市場の不確実性を高める要因は残るものの、世界経済の成長を背景に企業の業績成長が続くことが期待されます。

当ファンドでは、企業を主要な実施主体の一つと位置付けた、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」をきっかけに世界的に企業による社会的問題の解決に注目が集まっていることから、今後インパクト投資市場は成長し、多くの投資機会が提供されると考えています。

当ファンドでは技術革新が成長見通しを牽引する企業に注目しています。例えば、貧困層の金融サービスへのアクセスを可能にした、携帯電話の送金サービスを提供するケニアのサファリコム、資源の効率的利用を実現する水資源管理システムを提供するアイトロンや空調管理システムを提供するジョンソン・コントロールズなどを保有しています。この他、高コストのインフラ整備が不要で資源利用の効率性を高める創造的なソリューションを生み出せるAI（人工知能）の機械学習やパブリック・クラウド（オフプレミス）といった、効率化の新しい分野で企業の発掘に努めています。

引き続き、革新的な技術を有する企業、安定成長が見込まれる企業および継続可能な競争優位性を有する企業に注目し、ビジネス・サイクルおよび投資テーマの分散に努め、リターンの最大化を目指します。

### 当ファンドで注目するテーマ



### 社会的課題に関連する10の投資テーマ

#### 衣食住の確保

持続的農業と栄養支援



健康促進



住居の確保



水問題と公衆衛生



#### 生活の質向上

教育と職業訓練



金融サービス



デジタルツールとサイバーセキュリティ



#### 環境問題

代替エネルギー



環境保全



資源の効率化



※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネージャー他）の見方あるいは考え方等を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものではありません。 ※本文中の企業は、当ファンドの投資銘柄を参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。 ※投資テーマおよびテーマ数は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが独自に設定したものであり、適宜または将来において変更されることがあります。また、投資テーマのうち、複数の投資テーマ（マルチテーマ）にまたがる事業を行う企業へ投資する場合があります。 ※投資テーマおよび投資テーマの数は、2017年11月現在のものであり、今後変更される場合があります。 ※ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー提供データより作成。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

3 / 8

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## 世界インパクト投資ファンド

### <当ファンドの運用哲学>

当ファンドは、「インパクト企業は革新的なソリューション、大規模な潜在的市場、メガトレンドとの合致などによる構造的な優位性がある」という投資哲学に基づき運用を行なっています。当ファンドは社会的課題を切り口に、企業が社会に与えるさまざまな影響（インパクト）に着目するとともに、課題解決によって生まれる未開拓の市場で成長する企業に投資することで、投資収益の拡大を目指します。

### インパクト投資



「インパクト投資」は、民間企業の力を活用して社会的課題を解決すると同時に経済的利益を追求する新しい考え方です。

(イメージ図)

### 当ファンドの組入銘柄が関わる「社会的インパクト」の例

8,600万人が携帯を通じた金融サービスを受ける



300テラワットを超える再生可能エネルギーを生産し、2億トンのCO<sub>2</sub>排出を削減



2億立方メートルの汚染された水を処理



新興国において3億8,000万人にデジタルアクセスを提供



出所：ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー「GLOBAL IMPACT 2016 annual report」

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネージャー他）の見方あるいは考え方を記載したもので当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

4 / 8

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

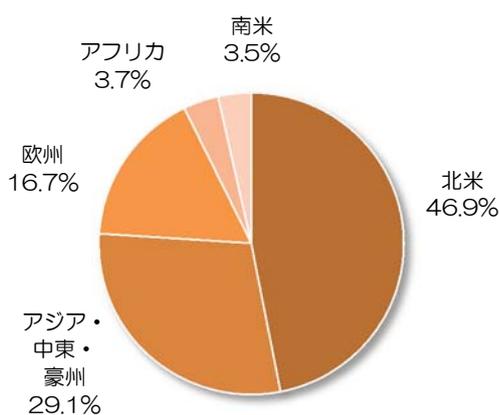
## 世界インパクト投資ファンド

(ご参考) 世界インパクト投資マザーファンド 2017年10月末

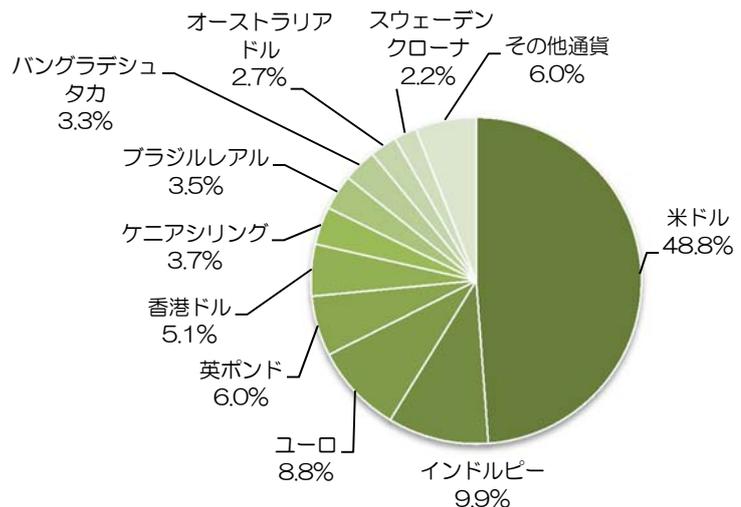
### 投資カテゴリー・テーマ別構成比

|                 |                    |       |
|-----------------|--------------------|-------|
| 衣食住の確保<br>35.6% | 持続的農業と栄養支援         | 10.0% |
|                 | 健康促進               | 13.5% |
|                 | 住居の確保              | 6.6%  |
|                 | 水問題と公衆衛生           | 5.5%  |
| 生活の質向上<br>31.9% | 教育と職業訓練            | 7.9%  |
|                 | 金融サービス             | 15.0% |
|                 | デジタルツールとサイバーセキュリティ | 9.0%  |
| 環境問題<br>31.8%   | 代替エネルギー            | 13.3% |
|                 | 環境保全               | 6.6%  |
|                 | 資源の効率化             | 11.9% |
|                 | マルチテーマ             | 0.7%  |

### 地域別構成比



### 通貨別構成比



(出所) ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、Bloombergのデータより大和住銀投信投資顧問作成

※投資テーマおよびテーマ数は、ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが独自に設定したものであり、適宜または将来において変更されることがあります。また、投資テーマのうち、複数の投資テーマ（マルチテーマ）にまたがる事業を行う企業へ投資する場合があります。※投資テーマおよび投資テーマの数は、2017年11月現在のものであり、今後変更される場合があります。 ※比率は、保有現物株の時価総額対比。 ※四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合があります。 ※ファンドの運用成果、分配金水準等を示唆、保証するものではありません。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

5/8

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## 世界インパクト投資ファンド

### <ファンドの目的>

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

### <ファンドの特色>

- マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の株式の中から社会的な課題の解決にあたる革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に実質的に投資を行うことで、信託財産の成長を目指します。
  - 当ファンドは、「世界インパクト投資マザーファンド」を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
  - 銘柄選定にあたっては、社会的課題の解決（社会的インパクト）に取り組む企業に着目し、個々の企業のファンダメンタル分析等を行い、投資魅力のある銘柄に投資します。
  - 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
- 実質的な運用は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーが行います。
  - マザーファンドにおける運用指図にかかる権限を、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーへ委託します。
- 毎年2月、8月の10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として収益の分配を目指します。
  - 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
  - 収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
  - 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

### <投資リスク（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

- 当ファンドは、マザーファンドを通じて、実質的に株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- お申込みの際には、販売会社からお渡しします『投資信託説明書（交付目論見書）』の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 基準価額を変動させる要因として主に、**■株価変動に伴うリスク** **■為替リスク** **■カントリーリスク** **■新興国への投資のリスク** **■信用リスク** **■流動性リスク** があります。ただし、上記はすべてのリスクを表したものではありません。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

6 / 8

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## 世界インパクト投資ファンド

### <収益分配金に関する留意事項>

- 分配金は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

### <ファンドの費用（詳しくは最新の投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください）>

#### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料 購入価額に**3.24%(税抜3.0%)**を上限として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。  
※詳細については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。  
購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。
- 信託財産留保額 ありません。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬） 毎日、信託財産の純資産総額に**年率1.944%（税抜1.80%）**を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

##### <運用管理費用(信託報酬)の配分>

|      |              |   |
|------|--------------|---|
| 委託会社 | 年率 1.05%（税抜） | ファンドの運用等の対価                             |
| 販売会社 | 年率 0.70%（税抜） | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| 受託会社 | 年率 0.05%（税抜） | 運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価                 |

※委託会社の報酬には、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーへの投資顧問報酬が含まれます。投資顧問報酬の額は、信託財産に属するマザーファンドの時価総額に対して年0.65%以内の率を乗じて得た金額とし、委託会社が報酬を受け取った後、当該報酬から支払います。

- その他の費用・手数料 財務諸表の監査に要する費用、有価証券売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用等は信託財産から支払われます。  
※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

7 / 8

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

# Fund Report

## 世界インパクト投資ファンド

### <お申込みメモ (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)>

- 信託期間 平成28年8月26日から平成38年8月10日(約10年)
- 購入単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。  
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。  
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
- 購入・換金申込受付不可日 ニューヨーク証券取引所、英国証券取引所、ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行の休業日と同日の場合はお申込みできません。
- 決算日 毎年2月、8月の10日(該当日が休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 年2回の決算時に分配を行います。

### <投資信託に関する留意点>

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。  
投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

### <委託会社およびその他の関係法人>

- 委託会社(ファンドの運用の指図を行う者)  
大和住銀投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
- 受託会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)  
三井住友信託銀行株式会社
- 販売会社

| 取扱販売会社名      | 登録番号                      | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
|--------------|---------------------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| 宇都宮証券株式会社    | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第32号   | ○       |                 |                 |                    |
| 高木証券株式会社     | 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第20号   | ○       |                 |                 |                    |
| 東海東京証券株式会社   | 金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号  | ○       |                 | ○               | ○                  |
| 野村證券株式会社     | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  | ○       | ○               | ○               | ○                  |
| ほくほくTT証券株式会社 | 金融商品取引業者 北陸財務局長(金商)第24号   | ○       |                 |                 |                    |
| めぶき証券株式会社    | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1771号 | ○       |                 |                 |                    |
| ワイエム証券株式会社   | 金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第8号    | ○       |                 |                 |                    |

6ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

(50音順)

8/8

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。